



## 平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東  
 コード番号 8289 URL http://www.olympic-corp.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金澤 良樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 佐藤 脩 TEL 042-300-7200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	75,064	15.5	239	—	149	—	24	—
25年2月期第3四半期	65,012	△8.6	△462	—	△528	—	△1,468	—

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 △77百万円 (—%) 25年2月期第3四半期 △1,356百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	1.05	—
25年2月期第3四半期	△63.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第3四半期	70,720	25,775	36.4	1,114.79
25年2月期	67,814	26,221	38.7	1,132.67

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 25,775百万円 25年2月期 26,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	14.7	850	—	800	—	430	—	18.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

・詳細は、【添付資料】3ページ「3. サマリー（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期3Q	23,354,223株	25年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	232,357株	25年2月期	203,868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期3Q	23,147,479株	25年2月期3Q	23,150,426株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米諸国の財政問題の長期化や新興国の経済成長の減速等、海外経済に不確実性は残るものの、政府主導による積極的な経済対策や大規模な金融緩和策を受けて株価が上昇し、過度の円高も解消され、輸出産業を中心として企業収益に改善がみられる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、輸入資材や原油等の価格が上昇するなど、足元の企業を取り巻く環境は業種による差も見られ、米国の金融政策動向などによる海外景気の下振れリスクの懸念は解消されず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業におきましても、景気回復への期待感から、一部では個人消費の回復に明るさが見られるものの、全体の所得環境の好転には至っておらず、消費税率の引き上げが控えていることもあり消費者の節約志向は依然として根強く、デフレ状況から脱却できないまま厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、当社の独自性を前面に打ち出す専門店の出店を中心とした積極的な店舗展開を推進してまいりました。また、既存店におきましても、地域特性やお客様のニーズに合わせた改装を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を合算した営業収益は前連結会計年度末より連結子会社に加えました(株)アバンセのスーパーマーケット事業が寄与したこともあり750億64百万円(前年同四半期比15.5%増)となりました。利益面におきましては、競合店の価格訴求に対抗するための売価政策をとったことや、原材料の高騰もあり、売上総利益率が2.5ポイント低下したため営業総利益が伸び悩んだ反面、燃料費や光熱費の値上げの影響はありましたものの販管費率は改善しており、営業利益は2億39百万円(前年同四半期は4億62百万円の営業損失)、経常利益は1億49百万円(前年同四半期は5億28百万円の経常損失)となりました。また、投資有価証券売却益を計上した反面、賃貸借契約解約損を計上したこともあり、24百万円の四半期純利益(前年同四半期は14億68百万円の四半期純損失)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億5百万円増加し、707億20百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億51百万円増加し、449億44百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億45百万円減少し、257億75百万円となりました。これは配当金を支払ったこと及びその他有価証券評価差額金が減少したことによる利益剰余金の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、小売業におきましては、物価上昇懸念や年金問題、消費増税による先行きの不安感などから個人消費は本格回復に至らず、恒常的なオーバーストア状態は変わらず、引き続き厳しい状態が続くものと思われま

す。このような環境の中、当社グループは、地域や店舗規模に即した店づくりを推進し、店舗の活性化及び効率化を図るとともに、経営資源の有効利用に努めてまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、平成25年10月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度まで連結子会社でありました(株)ハイパーマーケット・オリンピックにつきましては、連結子会社であります(株)フードマーケット・オリンピックと平成25年3月1日に合併し、消滅会社となったため、連結の範囲から除外しております。

また、(株)フードマーケット・オリンピックは同日付で(株)Olympicに商号を変更しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積もりの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ38百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,844	3,913
受取手形及び売掛金	382	655
商品	10,929	11,770
その他	2,637	2,983
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,793	19,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,467	13,433
土地	13,488	13,491
その他(純額)	1,535	1,544
有形固定資産合計	28,491	28,469
無形固定資産		
投資その他の資産	1,825	1,710
敷金及び保証金	18,318	17,309
その他	3,384	3,907
投資その他の資産合計	21,702	21,216
固定資産合計	52,020	51,396
資産合計	67,814	70,720
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,191	11,036
短期借入金	19,879	18,295
未払法人税等	119	29
賞与引当金	262	430
貸借契約損失引当金	105	94
その他	2,654	3,668
流動負債合計	30,214	33,555
固定負債		
社債	946	792
長期借入金	7,366	7,548
退職給付引当金	32	30
貸借契約損失引当金	67	—
資産除去債務	341	346
その他	2,625	2,670
固定負債合計	11,378	11,389
負債合計	41,592	44,944

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	6,268	5,945
自己株式	△153	△174
株主資本合計	25,890	25,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	330	229
その他の包括利益累計額合計	330	229
純資産合計	26,221	25,775
負債純資産合計	67,814	70,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	60,956	71,067
売上原価	39,800	48,215
売上総利益	21,156	22,851
営業収入	4,055	3,996
営業総利益	25,211	26,848
販売費及び一般管理費	25,674	26,609
営業利益又は営業損失(△)	△462	239
営業外収益		
受取利息	45	43
受取配当金	10	11
債務受入益	90	75
その他	75	82
営業外収益合計	221	212
営業外費用		
支払利息	265	299
その他	22	2
営業外費用合計	287	302
経常利益又は経常損失(△)	△528	149
特別利益		
固定資産売却益	—	22
投資有価証券売却益	—	188
特別利益合計	—	210
特別損失		
固定資産除却損	46	67
減損損失	58	—
投資有価証券売却損	203	—
貸倒引当金繰入額	332	—
貸借契約解約損	—	159
その他	8	15
特別損失合計	648	243
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,176	117
法人税、住民税及び事業税	180	62
法人税等調整額	111	30
法人税等合計	291	93
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,468	24
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,468	24



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,468	24
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	△101
その他の包括利益合計	112	△101
四半期包括利益	△1,356	△77
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,356	△77

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。